誠・力・光

令和５年１１月１１日
練馬区立北町中学校
学校だより　１１月号

社会人の一員として

校　長　中嶋　雅彦

校門を入り、「おはようございます」の挨拶をする。校舎内外の落ち葉を含むごみを集め、子どもたちの学習環境を守っている主事さんが汗を流しています。１１月になり、校庭にも独特の匂いをもっている銀杏の実が、所々落ちているのを見かけるようになりました。今年は、例年に比べ、どの樹木も葉を落とすのが遅いようです。

１１月２日より、本校では、クリーン運動を実施しています。１日１学級が、校庭に落ちている葉やごみを集めています。落ち葉の多くなるこの時期、風に舞った落ち葉が、道路や学校周辺の家を汚すことのないように、掃除をしています。「学校や地域において取り組む清掃活動を通して、生徒の環境美化に対する心情や実践力を養い、勤労に対する意識や地域社会の一員としての自覚を高める。」という目的のもと、この活動が行われています。校舎側の銀杏の木は、さほど葉を落としていませんが、校庭奥のけやき、プラタナス、アオギリなどは、周辺の住宅との境になるフェンス際に沢山の枯れ葉を積もらせていました。この体験活動を通し、生徒一人一人の特性に合わせた社会性を育んでいきたいと考えています。

また、１１月２９日には、１学年、３０日は２学年が校外学習を行います。１年は、川越、２年は東京という地域を体験場所として学習活動を行います。事前に１５時間ほどの時間を使い、行動班作り、ルール作り、見学場所の選択などの事前学習を生徒自ら行っています。自治の精神を基調にし、校外学習を通し、自主的、自立的な態度と責任ある仕事を行っています。本校の生徒は、当日だけではなく、計画段階から、その成長過程に合わせて生徒自ら作り上げる校外学習に取り組んでいます。次のスローガンは、実行委員会が作ったものです。

１年　「団体行動を意識して、責任をもちながら楽しく学ぼう」

２年　「New　Discovery　責任をもって仕事をこなし、みんなで創る校外学習にしよう」

生徒が校外学習を始め、全教育活動を通し、自ら実践する力と目標設定を行い、実現に向けての挑戦する力や意欲を身に付けることを期待しています。

学校周辺、川越、東京といった地域などを活動の場として、生徒が社会の一員としての自覚をもち、その役割を果たすために何が必要なのかを体験させ、その力を身に付けさせていきたいと考えています。これからも地域の皆様の協力のもと、子どもたちを育てていく決意です。